

学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園
専門学校札幌ビジュアルアーツ

開催日：2025年2月28日（金）13：00～14：30

出席委員：外部側関係者（業界団体関係者2名、企業関係者3名、姉妹校卒業生1名）

学校側関係者（理事長、学校長、副校長、学校長代理、事務局長、教務部長代理、学科長）

2024年度自己評価&学校関係者評価シート

専門学校札幌ビジュアルアーツ

1、教育理念・目標、人材育成

1、教育理念・目標、人材育成		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
1-1			
理念・目的・育成人材像は定められているか		4	4
1-2			
学校の特色は何か		4	4
1-3			
学校の将来構想を抱いているか		4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めている。また、総合専門学校という特徴を活かし、多様性のある環境から生まれる新しい発見を学生たちの“やる気”につなげ、学生たちが“なりたいたい自分になる”ためのサポートを行っている。実践指導の中で技術力、創造力、コミュニケーション力を養い、即戦力となりえる優秀なクリエイター、ビジネスパーソンを育てて行くこととしている。		
各評価委員からの 意見や課題	業界の変化に即応した、授業内容の見直しを常時心がける。		
今後の改善方針	各専門業界において、即戦力となる人材育成のための最新の知識と技術の導入。		

2、学校運営

2、学校運営		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
2-1 運営方針は定められているか		4	4
2-2 事業計画は定められているか		4	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか		4	4
2-4 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか		4	4
2-5 意思決定システムは確立されているか		4	4
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		4	4
評価項目総括	・運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を経由し周知を図っている。 ・運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、職員会議を通じて意思決定システムを構築している。 ・人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。		
各評価委員からの 意見や課題	運営課題の適宜適正、かつ速やかな解決。		
今後の改善方針	授業担当各講師の持つ学生の情報を収集し、情報の共有を常に心掛ける。		

3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	授業内容の専門性と特殊性により、学生理解度の格差が大きいため、授業外サポートの必要性が高く、授業運営上の課題となっている。		
各評価委員からの意見や課題	業界の専門的知識と技術の習得、及び社会人としてのキャリア教育の充実。		
今後の改善方策	授業時間外での個別指導とサポート強化の徹底。		

4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
4-3	退学率の低減が図られているか	3	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
評価項目総括	キャリアセンターを中心とした就職指導体制により、専門就職率の向上が図られている。今後一層の就職指導体制を構築する必要がある。		
各評価委員からの意見や課題	学生への個別指導及び相談、保護者との連携。		
今後の改善方策	担任、各授業担当講師、キャリアセンタースタッフの連携強化。		

5、学生支援

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	クラス担任制による、学生一人一人の生活状況の把握や進路指導に努めている。		
各評価委員からの 意見や課題	生活指導、健康管理、一人暮らし学生のケア、保護者との連絡及び連携の強化。		
今後の改善方策	担任による個人面談等、対話の機会を増やし、学生の現状を常に把握することに最大限努める。		

6、教育環境

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設は、実際の現場で使用されているプロ仕様の設備を整えている。学外実習、インターンシップについては十分な教育体制を整備している。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしている。		
各評価委員からの 意見や課題	学生の安全と健康の保持を第一に、施設・設備の継続的なメンテナンスを常に心がける。授業実施日には毎日複数回、常勤職員が安全と衛生面確認のため各教室を巡回。		
今後の改善方策	安全（防災含む）と衛生（清掃、消毒、換気）に留意した巡回を継続。		

7、学生の募集と受け入れ

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守している。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行っている。入学専攻方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施している。		
各評価委員からの意見や課題	各学科と専攻の授業内容や職業観を分かり易くPR。		
今後の改善方策	SNS、ホームページ、DM等を活用して、各学科と専攻の認知度を向上させる。		

8、財務

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。 財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません。		
今後の改善方策	特にありません。		

9、法令等の遵守

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの 意見や課題	常に法令と設置基準等の順守と注意喚起に努める。		
今後の改善方策	省庁からの通知、告示、制度変更等の情報を共有・網羅できる体制を保持し、個人情報管理等の内部統制の強化を堅持、学校関係者評価の活用に継続して努める。		

■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを学校関係者評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。また、教育課程編成委員会とも連携し教育体制の強化を図る。